

HITACHI
Inspire the Next



日立システムズの社会貢献活動 2022

人づくりって、未来づくり



日立システムズは、人とITのチカラで驚きと感動のサービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献しています。事業ブランド「Human * IT」を掲げる私たちにとって「人づくり」は何ものにも代えがたい大切な取り組み。だから、この世界の未来がもっと素敵なものになるように、“未来の大人たち”とこれからも真剣に向き合い続けます。

復興を担う若いチカラを応援

希望の響きをこのホールから
日立システムズホール仙台

10年



STORY

日立システムズは、東日本大震災発生直後からITサービスを通じた復旧・復興支援や募金、ボランティア活動を通じた生活・環境面での支援に取り組んできました。さらに2013年、仙台市が復興財源とする施設命名権を取得。「日立システムズホール仙台」がスタートし、イベントやコンサートなどを「希望の響き」シリーズとして開催。文化面からの復興支援にも取り組んでいます。東北、そして日本の未来を担う人材を応援したい——。これからも日立システムズは、被災された皆さまの心に寄り添いながら、希望の響きを未来へつないでいく活動を続けていきます。

2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021

日立システムズホール仙台を活用した文化面からの復興支援 「希望の響き」シリーズの開催



クラシック初心者・中高生向けラジオ番組 エンジョイ!クラシック提供

日立システムズ
エンジョイ!クラシック



子ども向けの体験型イベント こどもの夢ひろば“ボレロ”



“被災地の今を伝える”復興支援ラジオ番組 HEART TO HEARTの提供

Hitachi Systems

HEART TO HEART

2013年にスタートした東北と首都圏をつなぐ復興支援ラジオ番組。毎月ナビゲーターが被災地域を訪問し、現地の課題をゲストと考える。(2022年3月提供終了)

2022年度活動実績

コンサート来場者数

700名

「希望の響き」シリーズ「日立システムズ エンジョイ!クラシック」コンサートでは、同名のラジオ番組の魅力そのままに、プロによる楽曲解説と仙台フィルハーモニー管弦楽団と仙台白百合学園中学・高等学校オーケストラとの共演が実現しました。

シーズン 6

音楽で復興に取り組む仙台フィルハーモニー管弦楽団とのコラボレーション。楽団のメンバーによる分かりやすい楽曲解説と地元中高生との音楽談義が見どころです。

8年連続

ピアニスト小山実稚恵氏による体験型イベントに協賛。「日立システムズホール仙台」全館を使いさまざまな世界の“ホンモノ”と触れあえます。当社はITモノづくり体験を実施しています。



次世代のIT人材育成に注力

STEAM教育プログラム

累計

10,842名参加



STORY

今日も日立システムズには、子どもたちがやってきます。自分で組み立て、プログラミングしたロボットが動き出した瞬間には歓声が上がります。中高生たちはITの仕事のおもしろさや、AIや数学がビジネスでどう役立つのかを聞いて目を輝かせています。

当社はこれからも、STEAM (Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics) 分野を中心とした次世代人材の育成およびエンパワーメントに取り組んでいます。



ITの仕事の魅力、働く意義や喜びを伝える 中高生企業訪問

会社のこと、仕事のこと、働くということ——。聞きたいことに応えます。IT会社の仕事の魅力はもちろん、「社会との関わり方」や「働くことの意義や喜び」などをお伝えしています。



2022年度活動実績

企業訪問参加生徒数

3,083名

従業員の仕事紹介ではOBやOGが参加することも。仕事の魅力を伝えるとともにキャリア形成に貢献しています。

IT教室/データサイエンス出前授業
/AI授業 参加者数

212名

プログラミングの必修化やコロナ禍でのオンライン授業など社会のデジタル化の加速により、子どもたちに身近になったIT。もっと知りたいという子どもたちの想いに応えています。



プログラミングや ロボット組立に挑戦 IT教室



ロボットを自分で組み立て、制御する体験を通じて、子どもたちにモノづくりの楽しさや科学のおもしろさを伝えています。



AIの基礎知識を学び 改善方法を考える AI授業



データ活用・AI市場、豊富な活用事例を用いて講義を行い、機械学習を活用した業務改革提案にチャレンジ！AIがビジネスにどう役立つかを体感できます。



数学の知識を使い データ分析・技術活用を体験 データサイエンス 出前授業



数学・統計学に基づくデータ分析の演習を通じて、企業が抱える業務課題の解決に挑戦します。数学はどのように社会で役に立つんだろう？そんな子どもたちの問いに、当社のデータサイエンティストが応えます。



TOPICS

地域社会貢献からビジネスへ。

地域活性化を目的とした宮城県女川町との“協創プロジェクト”を開始



「あたらしいスタートが世界一生まれる町へ。START! ONAGAWA」をスローガンに掲げる女川町

日立システムズは「まちのうれしいをつくるシゴト」をコンセプトに掲げ、「地域協創プロジェクト」を推進しています。その第一歩として、公民連携で強力でまちづくりを進める女川町に魅力を感じ、2022年にプロジェクトを始動しました。まちをより深く理解するために当社社員3名が現地に移住し、地域に根差した視点で女川発のサービスを立ち上げるべく奮闘しています。

日立システムズはまちづくりの協創パートナーとして女川町から全国へ、地域活性化モデルを広げていきます。



プロジェクトの
詳細



取り組み紹介動画
(ビデオリリースNewsTV)



移住した3人の社員。まちで暮らす当事者として、まちの課題を深く理解し解決に挑む



「ホテル・エルファロ」の一角に女川オフィスを開設



女川町協創プロジェクトでの定例会



提供するサービスもまちの人に試してもらう



まちの人の声を生かした
「シーバルPay」